

2

言語

文法 文の組み立て(1)
文の成分・連文節

名前 年 組 番

/ 100 点



(2) 各5点×8、他各4点×15

【1】 次の文の——線①～⑤の文の成分を、後の「」からそれぞれ選びなさい。

① 彼は、テニス部の正選手になろうとして努力した。③
② ④ ⑤
③ ④ ⑤
④ ⑤
⑤

「主語 述語 修飾語 接続語 独立語」

【2】 次の文について、後の問いに答えなさい。

① 母が朝から外出したときに、② ③
④ ⑤
⑤

① 「母が朝から外出した」の文の成分を、後から選び、それぞれその記号を書きなさい。

母が () 朝から ()
外出した ()

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語
エ 接続語 オ 独立語

② 「ぼくと弟は」③
④
⑤
⑥
⑦
⑧
⑨
⑩
⑪
⑫
⑬
⑭
⑮
⑯
⑰
⑱
⑲
⑳
㉑
㉒
㉓
㉔
㉕
㉖
㉗
㉘
㉙
㉚
㉛
㉜
㉝
㉞
㉟
㊱
㊲
㊳
㊴
㊵
㊶
㊷
㊸
㊹
㊺
㊻
㊼
㊽
㊾
㊿

ア 主部 イ 述部 ウ 修飾部
エ 接続部 オ 独立部

③ 「遊んでいた」の説明になるものを次から一つ選び、その記号を書きなさい。 ()

ア 「母が」に対する述部になっている。
イ 「朝から」に対する接続部になっている。
ウ 「部屋で」に対する修飾部になっている。
エ 「ぼくと弟は」に対する述部になっている。

【3】 次の文の——線の文の成分を後から選び、それぞれその記号を書きなさい。また、——線の文節どうしの関係を書きなさい。

① 試合中に応援団が大きな声援を送っていた。
成分 () 関係 ()

② 今日の二時に先生のお宅にうかがいます。
成分 () 関係 ()

③ 祭りは、天気さえよければにぎわうだろう。
成分 () 関係 ()

④ 温かくて大きいのは、私の祖父の心です。
成分 () 関係 ()

⑤ 彼女の助言、それがぼくを立ち直らせてくれた。
成分 () 関係 ()

ア 主部 イ 述部
ウ 修飾部 エ 接続部
オ 独立部

【4】 次の文の、文の成分の組み立てを後から選び、それぞれその記号を書きなさい。

① 満開の桜の花を二人の老人がとても楽しそうに眺めていた。 ()

ア 主部＋述部＋修飾部＋述部
イ 修飾部＋主部＋述部
ウ 修飾部＋修飾部＋主部＋述部
エ 修飾部＋主部＋修飾部＋述部
オ 星空を見ると、ふさいだ気分が少し和らぐ。 ()

ア 主部＋述部
イ 接続部＋主部＋修飾部＋述部
ウ 接続部＋主部＋述部
エ 主部＋述部＋修飾部＋述部

3

言語

文法 文の組み立て(2)

文節どうしの関係・文の種類

名前

年

組

番

/ 100 点



(5は各4点×5、他各5点×16)

① 次の文で、主・述の関係になっている文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 弟が部屋で読書する。

主語 () 述語 ()

② 川の水はとても冷たい。

主語 () 述語 ()

③ 会場もたくさんの人でにぎわった。

主語 () 述語 ()

④ とうとう全員が山頂に立った。

主語 () 述語 ()

② 次の文で、修飾・被修飾の関係になっている文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 問題はとても易しい。

修飾語 () 被修飾語 ()

② すぐに列車が到着する。

修飾語 () 被修飾語 ()

③ ひらひらと花びらが舞う。

修飾語 () 被修飾語 ()

④ おそらく明日は晴れるだろう。

修飾語 () 被修飾語 ()

⑤ おそらく明日は晴れるだろう。

修飾語 () 被修飾語 ()

⑥ おそらく明日は晴れるだろう。

修飾語 () 被修飾語 ()

③ 次の文で、並立の関係になっている二つの文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 野菜や果物を食べなければいけません。

() ()

② 彼らは高く険しい山を目指している。

() ()

④ 次の文で、補助の関係になっている二つの文節をそれぞれ書きぬきなさい。

① 部屋の窓を開けておく。

() ()

② 太陽が空をのぼってくる。

() ()

⑤ 次の文の——線と——線の文節どうしの関係と同じ関係のものを後からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① 白い大きな鳥が飛んでいる。

()

② ささやかな願いが実現した。

()

③ トンネルや鉄橋が多い地域だ。

()

④ ろうそくの火が静かにゆらめく。

()

⑤ 元気なら、走れ。

()

⑥ 次の文の種類を後からそれぞれ選び、その記号を書きなさい。

① 梅の花が咲く道を私は歩いた。

()

② 海はどこまでも青く澄んでいた。

()

③ 風は戸をたたき、雨は降り続けた。

()

ア 単文

イ 重文

ウ 複文

エ これは妹が描いた絵です。

オ 海は深く、山は高い。

カ 私はイルカがジャンプするのを見た。

ク 先生が教室に來られます。

1

言語 漢字・語句 漢字・語句の練習

名前 年 組 番

/ 100 点



(2) 4各3点×12、他各4点×16

① 次の漢字の部首をア～エから選び、記号を書きなさい。

① 襲〔ア音 イ亀 ウ龍 エ衣〕 ()

② 豪〔アア イイ ウウ エエ〕 ()

③ 暇〔ア日 イ月 ウコ エヌ〕 ()

④ 縁〔アユ イ彡 ウ糸 エ系〕 ()

② 次の①～⑥、それぞれの三つの□に共通する漢字を入れて熟語を作りなさい。漢字は後から選び、記号を書きなさい。

① □星・迷□・困□ ()

② □様・神□・□下 ()

③ 影□・反□・音□ ()

④ 名□・対□・□賛 ()

⑤ 感□・□息・□願 ()

⑥ □向・□旨・□味 ()

〔ア称 イ殿 ウ響 エ惑 オ嘆 カ趣〕

③ 次の文中の四字熟語の——線のカタカナを、漢字に直して書きなさい。

① 美辞レイクを並べてもむなしいだけだ。

② 才色ケンビとは彼女を指して言う言葉だ。

③ 旧態イゼンとしたやり方では発展しない。

④ ジンセキ未踏の地にたどり着いた。

④ 次の熟語に当てはまる構成を、後のア～カから一つずつ選び、記号を書きなさい。

① 皮膚 () ② 未婚 ()

③ 握力 () ④ 雷鳴 ()

⑤ 攻守 () ⑥ 発汗 ()

ア 似ている意味の漢字を重ねたもの。 (岩石)

イ 反対または対になる意味を表す字を重ねたもの。 (高低)

ウ 上の字が下の字を修飾しているもの。 (洋画)

エ 下の字が上の字の目的語・補語になっているもの。 (着席)

オ 主語と述語の関係にあるもの。 (国立)

カ 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。 (未熟)

⑤ 後のひらがなを漢字に直して□に入れ、対義語を作りなさい。

① 濃密 ()

② 買収 ()

③ 軽率 ()

④ 確信 ()

③ 軽率 ()

④ 確信 ()

③ 軽率 ()

④ 確信 ()

〔おく しん きやく たん〕

⑥ 後のひらがなを漢字に直して□に入れ、類義語を作りなさい。

① 貯蔵 ()

② 思案 ()

③ 過大 ()

④ 看病 ()

〔ほう ちく りよ こ〕

5

言語

ことばの学習 まとめ(5)
類義語・慣用句

名前

年

組

番

/100点

(各10点×10)



1 ———— の言葉と同じような意味の言葉を、□ に別の漢字一字を入れて作りましょう。

① 自分で体験したことを書く。 ↓ 自分で □ 験したことを書く。

② 関係のある内容をまとめて述べる。 ↓ 関 □ のある内容をまとめて述べる。

③ いろいろな視点^{してん}からものを見る。 ↓ いろいろな □ 点からものを見る。

④ 自分の未来について考えてみる。 ↓ 自分の □ 来について考えてみる。

⑤ 規則正しい生活を送る。 ↓ 規 □ 正しい生活を送る。

2 □ に当てはまる動物を書き入れ、下の意味を持つ慣用句を完成させましょう。

① □ のなみだ…ごくわずかなこと。

② □ をかぶる…おとなしいふりをする。

③ □ が合う…気が合う。

④ □ の行水…入浴時間がとても短いこと。

⑤ □ ね入り…ねむったふりをする事。

9

言語

ことばのおさらい(1)

同訓異字 反対の意味の漢字 慣用句

名前 年 組 番

/100点



【1】は各完答で各20点×2、【2】は各完答で各10点×3、【3】は各10点×3

1 □に、同じ訓を持つ、別の漢字を書き入れましょう。

③ 技術の向上に □ める。	② 町長を □ める。	① 工場に □ める。
⑥ 移動する時間を □ る。	⑤ 海底の深さを □ る。	④ 体重を □ る。

2 次の上の□に漢字を書き、それと反対の意味の漢字を下の□に書きましょう。

① ひろ ったごみは □ てないで、持ち帰ってください。	② 敬^{けい} の日は、 □ い人たちがお祝いの会を開いた。	③ むずか しい問題はできたのに、 □ しい問題でまちがえた。
---	--	--

3 次の――線の言葉が表しているものに、○を付けましょう。

- ① 毎朝飼育小屋をそうじしている飼育委員の人には、頭が下がる。
- ―― 申しわけなく思う気持ち。―― とても感謝する気持ち。
- ―― 心配する気持ち。
- ② 来週から夏休みだから、うれしくて勉強が手につかない。
- ―― 集中できないでいる様子。―― 集中してやる様子。
- ―― そのことが心配でたまらない様子。
- ③ 田村君のピアノの演奏に、みんな舌をまいた。
- ―― 下手でがっかりした様子。―― あきてしまった様子。
- ―― とても上手で感心した様子。